



響～声に想ひを～ 合唱コンクールを終えて

こもればホールいっぱいに響いた歌声が、まだ耳の奥に残っています。先日の合唱コンクール、どの学年の歌声にも、それぞれの想いがこもっていました。1年生の、まっすぐで一生懸命な歌声。初めての舞台とは思えないほど堂々としていて、聴く人の心を温かくしてくれました。2年生は、クラスのまとまりを感じる美しいハーモニー。日々の生活の中で育まれた仲間との調和が、そのまま歌声に表れていたように思います。そして、3年生。学年合唱では、これから始まるクラス合唱への気合いが入った力強い歌声で、会場全体を一気に引き込みました。あの一曲で、観る人の心をぐっと掴み、「さあ、ここからが本番だ」と感じさせる圧巻のスタートでした。



クラス合唱では、どのクラスもそれぞれの色を大切にしながら、時間をかけて練り上げてきた“自分たちの合唱”を披露しました。声を重ねる喜び、仲間と響き合う嬉しさ、すべてが会場を包み込み、聴く人の心を揺さぶる素晴らしい舞台でした。最後の講評で音楽の先生が話された言葉が、今も印象に残っています。「一生懸命は、カッコいい。」まさに、3年生の合唱がその言葉を体現していました。歌う全員が真剣な表情で指揮と伴奏の呼吸を感じ取り、一つの音楽を全員でつくり上げる。その姿は、見ている人の息を止めさせるほどの迫力と美しさがありました。あの瞬間、3年生は間違いなく「カッコよかった」です。努力してきた日々が歌声に乗り、聴く人の心に真っすぐ届いていました。あの姿を見た1・2年生は、きっと多くのことを感じ取ったことでしょう。「本気でやるということ」。3年生の背中が、言葉以上のメッセージを伝えたと思います。

ここまで来られたのは、たくさんの人の想いが重なっていたからですね。実行委員が合唱コンクールを成功させようと動き続けたこと。指揮者や伴奏者が、人知れず重ねてきた努力。パートリーダーが音の一つひとつにこだわり、仲間をまとめてきたこと。そして、クラスの一人として真剣に声を出し続けたみんなの姿。そのすべてが積み重なり、一つの感動を生みました。あの日の歌声は、聴く人の心を動かし、3年生自身の心にも深く刻まれたはずです。

でも、合唱コンクールはゴールではありません。これからの学校生活、そして進路に向かう日々の中で、この経験をどう生かすかが大切です。そして、生かしてこそ合唱コンクールの価値があります。

「みんなで頑張る」「一人でも頑張る」そのどちらも、これからのみんなに必要な力です。合唱で感じたあの達成感と一体感を大切に、次のステージでもまた、自分たちらしい輝きを見せてください。がんばれ3年生。



来週から始まる三者面談に向けて

いよいよ来週から、三者面談が始まります。進路や今後の生活について、担任の先生とじっくり話し合う大切な時間です。面談では、ぜひ自分の言葉で自分の考えを伝えてください。

内容は、①進路希望調査をもとに本人・保護者・先生で確認

②希望する学校や職場を選んだ理由

③見学や個別相談の内容

④今感じている悩みや不安、質問したいこと

⑤中間考査の反省と今後の学習

⑥日常の授業態度や提出物の状況、受験勉強の進め方、改善すべきこと、今後なすべきこと等

面談は、自分のこれまでを振り返り、これからの道について考える大切な時間です。放課後の空いた時間も「当たり前のように授業の続き」と考え、自学の時間として有意義に過ごしていきましょう。未来への第一歩を、自分の力で踏み出してください。



■今週の予定(10/27(月)～10/31(金))

月 日	組	1	2	3	4	5	6	備 考
10/27 (月)	A	総合	理科2	国語	数学	国語	三者 面談	全校朝礼[安] 進路面談(3)(始)
	B	総合	理科1	数学	国語	英語		
	C	総合	国語	社会2	数学	美術		
10/28 (火)	A	体育	理科1	社会1	英語	数学	三者 面談	
	B	社会1	体育	国語	理科1	英語		
	C	理科1	社会2	体育	英語	数学		
10/29 (水)	A	理科1	英語	家庭科	社会1	体育	三者 面談	地域清掃
	B	英語	理科1	技術	体育	数学		
	C	国語	英語	理科1	技術	体育		
10/30 (木)	A	体育	数学	美術	英語	社会2	三者 面談	
	B	数学	国語	社会2	理科2	体育		
	C	体育	数学	国語	英語	社会1		
10/31 (金)	A	国語	数学	理科1	音楽	社会2	三者 面談	
	B	理科2	音楽	数学	美術	英語		
	C	理科1	数学	音楽	理科2	社会1		

※「社会1」はI先生、「社会2」はM先生です。

※「理科1」はK先生、「理科2」はM先生です。

※予定の変更等は、朝・終学活等で連絡します。_____は授業変更の箇所です。